

西条市地域公共交通網形成計画(素案)【概要版】

◆計画策定の背景

西条市では、少子高齢化の進展や自家用車の普及、道路網の充実等の社会環境の変化による公共交通利用者の減少に対応するため、「西条市地域公共交通網形成計画」を平成27年3月に策定した。

今年度その計画期間が終了するに伴い、地域環境・社会環境の変化に対応した、持続可能な西条市の公共交通体系の構築を図ることを目的として「西条市地域公共交通網形成計画(改定版)」を策定した。

◆策定主体/西条市

◆計画の区域/西条市全域

◆計画の期間/令和2年度から令和6年度までの5年間

■本改定版がめざす将来像

自立し充実した日常生活・社会生活を確保する基盤として公共交通網をとらえ、将来像を以下のように設定する。

《本改定版がめざす将来像》
～誰もが安全で快適に移動できる地域社会～

■西条市公共交通の現状と問題点

(1) JRとバスとの競合・接続の不備

(2) バス等の利用者数の減少

(3) 非効率な運行

(4) バス事業者の路線撤退意向

(5) 交通空白地域の存在

(6) バス利用者間の料金格差の発生

(7) バス関連経費の拡大

■西条市公共交通の課題

(1) JR駅を中心とした交通体系の構築

- ①主要駅での結節点機能の強化
- ②拠点としての情報提供の充実

(2) 住民ニーズに応じた移動サービスの確保

- ①利用者のライフスタイルに合わせたダイヤ設定
- ②タクシー型サービスの提供
- ③区域運行型交通システムの導入

(3) 公共交通を取り巻く環境の変化への対応

- ①適切な代替交通の検討
- ②公共交通の担い手育成支援
- ③免許返納者への対応

(4) 効率的なバス運行と公共交通コストの適正化

- ①バス路線の効率化
- ②費用負担の適正化
- ③持続可能なサービス提供

(5) 公共交通の利用促進

- ①通勤・通学での公共交通利用促進
- ②新たなターゲットへのPRと利用促進
- ③観光2次交通の充実による利用促進

■基本方針・目標・事業

将来像を実現するための3つの基本方針を掲げ、基本方針の下に目標を設定してその目標を達成するための具体的な事業を以下のように位置づける。

基本方針1 / 住みやすさを実感できる移動サービスの充実

「第2期西条市総合計画」の将来都市像は「人がつどい、まちが輝く、快適環境実感都市」であり、住みやすさを実感できる利便性の高い移動サービスの充実に取り組む。

◆目標1：市域を網羅する交通ネットワークの形成

事業1-1 周辺部と都市機能誘導区域間の移動利便性の向上

事業1-2 都市機能誘導区域間の移動利便性の向上

【目標1】評価指標	現状値 (H30年度)	目標値 (R6年度)
交通空白地の解消地区数 (地区:概ね小学校区)	6地区	12地区
【目標2】評価指標	現状値 (H30年度)	目標値 (R6年度)
市内バス路線の1便あたり 輸送人員(1日平均)	2.2人/便	3.0人/便

◆目標2：住民ニーズに対応した移動サービスの提供

事業2-1 都市機能誘導区域内の移動利便性の向上

事業2-2 通院・買物移動に対応したダイヤ編成

事業2-3 公共交通利用環境の整備

基本方針2 / 新たな需要の掘り起こしによる公共交通の利用促進

公共交通利用者が減少傾向にある中、今後も公共交通を維持していくためには利用促進が不可欠であり、新たな需要を掘り起こして公共交通の利用者確保に努める。

◆目標3：日常的な公共交通利用の促進

事業3-1 通勤・通学利用の促進

事業3-2 免許返納者の利用促進

【目標3】評価指標	現状値 (H30年度)	目標値 (R6年度)
市内バス路線の1日平均 輸送人員と市内JR駅の 1日平均乗車人員の合計	3,136人/日	現状維持
【目標4】評価指標	現状値 (H30年度)	目標値 (R6年度)
西之川線の年間輸送人員	15,216人/年	現状維持

◆目標4：観光2次交通の充実

事業4-1 観光客に対応した2次交通の充実

事業4-2 外来者へのわかりやすい情報提供

基本方針3 / 持続可能な交通施策・運行体制の確立

公共交通に係る費用負担が増加傾向にある一方でバス・タクシーのドライバー不足が深刻な状況となっており、将来的にもサービスを提供し続けられる体制の構築を図る。

◆目標5：効率的なバス運行の実現

事業5-1 バス運行の効率化

事業5-2 競合を回避する路線・ダイヤの設定

【目標5】評価指標	現状値 (H30年度)	目標値 (R6年度)
市内バス路線の収支率	17.30%	20.00%
【目標6】評価指標	現状値 (H30年度)	目標値 (R6年度)
西条市の公共交通関連 負担額	127,644千円/年	現状維持
【目標7】評価指標	現状値 (H30年度)	目標値 (R6年度)
交通事業者のドライバー数	180人	現状維持

◆目標6：行政負担の抑制

事業6-1 サービス水準の適正化

◆目標7：公共交通の担い手確保

事業7-1 交通事業者と行政の連携による担い手確保